

## 稲取水産祭が開催される

令和元年5月3日に、伊豆漁協稲取支所で「第39回水産祭」が開催されました。稲取キンメをはじめ、定置網のサバやスルメイカなど地元水産物が格安で販売される恒例イベントで、開場時刻の午前8時30分には長蛇の列ができ、一番の目玉である稲取キンメは30分ほどで売り切れました。また、昨年は荒天により中止となった活きたキンメダイが展示され、普段はあまり目にするこのとのない活きた稲取キンメと記念撮影をする来場者も多く見られました。

4月に稲取漁港直売所「こらっしえ」がオープンしたことや、ゴールデンウィーク中であったことから多くの人々が来場して大盛況でした。地元特産品などが当たる大抽選会や、締めくくりの餅まきなど、大人も子供も楽しめる水産祭りでした。



写真 活きた稲取キンメが人気でした

(高木康次)